

学生アンケートの結果からみる学生生活と GPA の相関 (1)

武方 壮一・吉田 和子
(宮崎大学 教育・学生支援センター)

はじめに

学修成果及び教育効果の把握において、学生の行動や満足度に関するアンケート調査は間接評価として各大学の判断の下で実施されているが、本学における学生アンケートは、学生の学習状況や、課外活動、学習環境などを把握し、教育の改善や効果的な学生支援を検討するための基礎資料として活用することを目的として2006年度より毎年実施している。現在、このアンケートは、学生の在籍期間において、初年次、2年次、卒業年次の時期に、3度ウェブ上で実施している。調査項目は定期的に見直しを行い、3ポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の達成度、学習時間、身につけた資質・能力の質問内容を改善したり、学生の成長実感・満足度、生活実態の質問を加えるなどしてきている。集計結果の詳細は毎年本学教職員に示すとともに、ダイジェスト版を作成しアンケートに協力した学生に対しても公表している。

本学が学生に対して実施しているアンケートに係わる実施体制の特徴は、全学の教育委員会である「大学教育委員会」において、アンケートの意義、質問内容、実施方法、実施時期について、全学的な合意のもとに実施しており、ウェブ調査において高い回答率を収めている点があげられる。従来は実施したアンケートの単年度集計結果をとりまとめていたが、この度回答履歴により、2016年度に入学した学部学生について、卒業するまでに3度の学生アンケートにすべて回答をした学生を追跡することができたので、学生アンケートの回答結果と GPA の相関について考察する。

1. 調査方法

教育・学生支援センターにおいて、2016年度に入学した学部学生を対象に、2016年4月、2017年10月、2019年12月に3度のアンケート（学生調査）を実

施した。同センターでは、アンケートに回答した学生のうち、3度のアンケートすべてに回答した学生を追跡し、300名の学生を抽出することができた。各学部における回答者内訳は、教育学部50名（120）、医学部4名（170）、工学部105名（370）、農学部135名（285）、地域資源創成学部6名（90）であった（カッコ内の数字は学生定員を表す）。追跡できた回答者数は学部により異なるが、教育学部は約40%、工学部は約30%、農学部は約45%の学生が3度のアンケートに回答している。

さらに、アンケート結果と卒業時の通算 GPA のデータをマージした。分析には GPA データも含め、個人が特定できない状態に処理したデータを用いた。これらのデータは、R 4.0.3 (R Foundation for Statistical Computing) を用いて分析した。

本学における学習調査の結果は教育・学生支援センターのホームページ (<https://www.miyazaki-u.ac.jp/cess/>) にて公開している。このサイトで回答総数や全体的な回答分布等を分析し既に公開されているため、本稿ではこれらの基本的な情報については割愛する。

2. 学生アンケートにおける質問項目

本学が実施している学生アンケートの質問項目の概要について表1に示す。初年次アンケートは、入学時の意欲、教育目標の理解、留学の意志、進路・就職の意識、住居、生活時間について尋ねている。2年次アンケートは特に、1年次から2年次にかけて履修する基礎教育の学修成果について尋ねている。合わせて学習支援、生活全般に関する質問が追加されている。最終年次アンケートは、学士課程としての学修成果について尋ねている。合わせて学習環境、施設・整備に関して4年間を通じた満足度を尋ねている。今回分析対象とした、初年次、2年次、最終年次のアンケート項目数は、おおよそ初年次20問、2年次70問、最終年次40問となっている。それぞれのアンケートの回答率を表2に示す。

表1 学生アンケートの質問項目の概要

初年次 (2016年4月)	2年次 (2017年10月)	最終年次 (2019年12月)
入学時 ・入学時の意欲 ・志望理由 ・オープンキャンパスへの参加 教育目標 ・アドミッション・ポリシーの周知度 ・ディプロマ・ポリシーの周知度 進路・就職 ・卒業後の進路 ・地域への関心, 理解 生活時間 ・読書	教育目標 ・ディプロマ・ポリシーの周知度 基礎教育 ・基礎教育をとおして身につけた能力, 経験, 態度 ・教員の教育方法 ・成績評価 学習支援 ・授業に関する情報提供 ・授業担当者への相談 ・学年担当者等への相談 ・補習教育 進路・就職 ・地域への関心, 理解 ・仕事像 生活時間 ・授業 ・事前・事後の学習 ・サークル活動 ・アルバイト ・読書 生活全般 ・悩みや不安 留学 ・留学経験	教育目標 ・ディプロマ・ポリシーの周知度 ・カリキュラム・ポリシーの周知度 ・育成する資質・能力の習得度 学習経験・成果 ・学士課程をとおして身につけた能力, 経験, 態度 ・教員の教育方法 ・成績評価 学習支援 ・授業に関する情報提供 ・授業担当者への相談 ・学年担当者等への相談 学習環境 ・自習室, ラーニングコモンズ, 図書館 留学 ・留学経験, 成果 進路・就職 ・地域への関心, 理解 ・仕事像 生活時間 ・授業 ・事前・事後の学習 ・サークル活動 ・アルバイト ・読書 生活全般 ・悩みや不安 ・友人関係 ・大学の相談窓口の認知度 ・朝食の摂取 ・ボランティア活動への参加 ・インターンシップへの参加 ・学生支援の充実度 (キャリア・就職, 国際交流, 課外活動, 経済支援, 等) 施設・設備 ・体育設備, 食堂, 購買部

表2 アンケートの回答率

	初年次 (H28/2016)			2年次 (H29/2017)			最終年次 (H31/2019)		
	在籍数	回答数	回答率(%)	在籍数	回答数	回答率(%)	在籍数	回答数	回答率(%)
教育学部	127	74	58.3	124	84	67.7	120	106	88.3
医学部	170	141	82.9	163	15	9.2	168	124	73.8
工学部	372	342	91.9	368	182	49.5	434	217	50.0
農学部	280	267	95.4	277	212	76.5	278	218	78.4
地域資源創成学部	96	89	92.7	96	7	7.3	93	36	38.7
総計	1045	913	87.4	1028	500	48.6	1093	701	64.1

3. アンケートの回答と GPA の相関

得られたアンケートの回答結果と回答者の卒業時の通算 GPA について、2 変量の相関分析を行った。

Pearson の積率相関回分析による検定の結果、相関係数の値の大きいものから順に表 3 に示す。マルチプルアンサーの設定の場合は選択肢を示している。(* 相関係数は 5%水準で有意 (両側), ** 相関係数は 1%

表 3 アンケートの回答結果と GPA の相関

対象	分類	設問	選択肢	相関係数
最終年次	留学	1 在学中の海外への留学/渡航経験はありますか。		.237**
最終年次	生活全般	2 普段、朝食は食べますか。		.216**
最終年次	学習経験・成果	3 在学期間中の授業をとおして、自発的に学習する態度が身についたと思いますか。		.200**
最終年次	学習経験・成果	4 3年生のときの成長の実感がありますか。		.200**
最終年次	学習経験・成果	5 2年生のときの成長の実感がありますか。		.183**
最終年次	生活時間	6 休暇中の、学習時間 (1 週間の平均的時間数) を回答してください。		.174**
初年次	入学時	7 現在の学科・課程を選択した第 1 の理由を 1 つマークしてください。	学科・課程の入学難易度	.171**
最終年次	生活全般	8 あなたは、大学内にどのような友人がいますか。	悩み事を相談できる友達	.168**
2 年次	留学	9 留学/海外渡航の合計期間を教えてください。		.167**
最終年次	学習経験・成果	10 大学在籍中全体の成長の実感がありますか。		.167**
最終年次	生活全般	11 入学後、ボランティア活動に参加したことがありますか。これまでに参加した総日数を選んでください。		.166**
最終年次	教育目標	12 宮崎大学及び学科・課程で育成する資質・能力「人間性・社会性・国際性 (社会に貢献できる力)」について、現在の習得度を自己評価してください。		.160**
最終年次	教育目標	13 宮崎大学及び学科・課程で育成する資質・能力「主体的に学ぶ力」について、現在の習得度を自己評価してください。		.154**
最終年次	生活全般	14 ボランティア活動の内容は何ですか。	子どもに関する活動	.154**
最終年次	学習経験・成果	15 在学期間中の授業をとおして、課題解決能力が身についたと思いますか。		.153**
最終年次	留学	16 留学の目的は何でしたか。	語学以外の学習	.153**
最終年次	進路・就職	17 卒業後の進路 (就職・大学院等を含む) に向けた準備・活動をいつ頃から始めましたか。		.151**
最終年次	学習経験・成果	18 4年生以上のときの学びの充実度は高いですか。		.148*
最終年次	学習経験・成果	19 2年生のときの学びの充実度は高いですか。		.145*
最終年次	学習経験・成果	20 3年生のときの学びの充実度は高いですか。		.144*
最終年次	留学	21 留学経験によりあなたの意識や行動に変化はありましたか。	外国語運用能力が身についた	.142*
最終年次	学習環境	22 附属図書館のラーニングコモンズを、自習やグループ討論に活用しましたか。		.140*
2 年次	生活全般	23 学生生活を続けていく上で経済的な問題を抱えていますか。		.139*
最終年次	生活時間	24 学期中の、授業とは関係のない学習時間 (1 週間の平均的時間数) を回答してください。		.139*
最終年次	留学	25 留学経験によりあなたの意識や行動に変化はありましたか。	異文化理解が深まった	.136*
最終年次	留学	26 留学経験によりあなたの意識や行動に変化はありましたか。	自分のキャリアについて考えが深まった	.136*
初年次	入学時	27 在学中にボランティア活動をしてみたいと思いますか。		.133*
2 年次	生活全般	28 出身地や故郷と思える地域に関心がありますか。		.127*
2 年次	留学	29 現在、留学に対してどのような考えを持っていますか。	大学入学時は留学に興味はなかったが、留学したいと思うようになった	.126*

2年次	留学	30	大学入学後1年半が経過しましたが、この間における海外への留学／渡航経験はありますか。		.125*
最終年次	学習支援	31	シラバスの活用状況について該当するものにチェックしてください。	履修計画を立てるのに活用した	.123*
最終年次	留学	32	留学の目的は何でしたか。	インターンシップ	.121*
最終年次	生活全般	33	あなたは、大学の相談窓口を知っていますか。知っているものすべて選んでください。	就職相談室	.121*
最終年次	留学	34	留学経験によりあなたの意識や行動に変化はありましたか。	平和、環境、貧困問題など地球的課題への意識が高まった	.119*
最終年次	生活全般	35	あなたは、大学内にどのような友人がいますか。	尊敬できる友達	.117*
2年次	留学	36	「留学したい／興味はなかったが、留学したいと思うようになった」と回答した方は、どのような留学を希望しますか。	学位取得を目的としない海外大学への中・長期留学(例: 交換留学等)	.116*
最終年次	学習経験・成果	37	在学期間中の授業をとおして、論文や本を読みましたか。		.115*
最終年次	留学	38	留学の目的は何でしたか。	語学	.114*
最終年次	生活時間	39	学期中の、授業(講義、演習、実験、実習を含む)の課題、準備・復習時間(1週間の平均的時間数)を回答してください。		.113*
初年次	入学時	40	宮崎大学での充実した学生生活について期待していますか。		-.115*
2年次	教育目標	41	「宮崎大学の教育目標」を何によって知りましたか。	大学のホームページ	-.116*
2年次	学習環境	42	大学には学習に必要なコンピュータネットワークの環境が整っていた。		-.117*
2年次	留学	43	現在、留学を考えたときに障害となると思うものは何ですか。あてはまる項目をすべてマークしてください。	親の賛同が得られない	-.119*
2年次	生活時間	44	学期中のアルバイト・仕事の時間(1週間の平均的時間数)を回答してください。		-.122*
2年次	基礎教育	45	基礎教育について、授業をとおして論文や本を読みましたか。		-.123*
最終年次	生活時間	46	学期中の、サークル・クラブ活動の時間(1週間の平均的時間数)を回答してください。		-.126*
2年次	留学	47	現在、留学に対してどのような考えを持っていますか。	大学入学以前から留学に興味はない	-.133*
初年次	入学時	48	現在の学科・課程を選択した第1の理由を1つマークしてください。	学科・課程の教育内容が文科系であるか理科系であるか	-.142*
2年次	教育目標	49	あなたは「宮崎大学の教育目標」(「人間性の教育」、「社会性・国際性の教育」、専門性の教育)を知っていますか。		-.149**
最終年次	生活時間	50	休暇中の、サークル・クラブ活動時間(1週間の平均的時間数)を回答してください。		-.150**
2年次	学習支援	51	高校教育を補うなど基礎学力のための補習教育をもっと充実させた方がよい。		-.156**
2年次	生活時間	52	休暇中の、サークル・クラブ活動時間(1週間の平均的時間数)を回答してください。		-.165**
2年次	生活時間	53	読書習慣について当てはまるものを1つ答えてください。		-.175**
初年次	生活時間	54	読書習慣について当てはまるものを1つ答えてください。		-.199**

水準で有意(両側))

相関係数は、最も大きいもので0.237であり、「留学／渡航経験」、「朝食の摂取」、「自発的に学習する態度」、「成長の実感」の4つがGPAと弱い正の相関が見られた。「成長の実感」、「学びの充実度」については、学年ごとに「そう思う」、「ある程度そう思う」、「あまりそう思わない」、「思わない」の段階で尋ねてい

る。残りの質問項目についてはほとんど相関が見られなかった。朝食の摂取と成績の相関については、文部科学省が小学校6年生と中学3年生を対象に毎年実施している「全国学力・学習状況調査」の結果資料においても報告されている。どの学年、どの教科においても「毎日朝食をとる」「どちらかといえば食べている」「あまり食べていない」「全く食べていない」の順に平

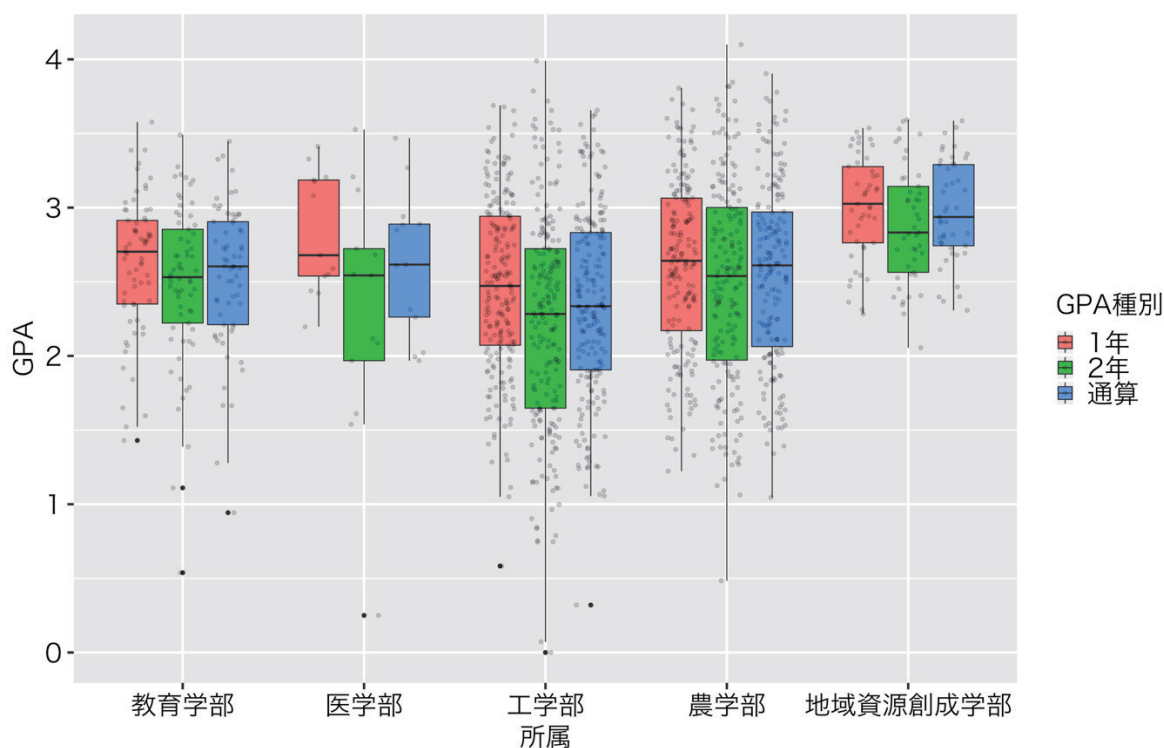
均正答率が下がり、朝食摂取と学力の相関が確認できる。大学生においても同様のことが言える。一方、「教育目標の理解」、「学習時間」、「読書」、「サークル活動」、「学習環境」などは、GPA にほとんど影響を及ぼしていないようにうかがえる。

学修成果は正課の学習をもって測ることが原則であるが、教育の結果として身につけた能力があまり GPA に反映されていない、つまり正の相関が見られないことは、教育に係わる組織及び教員として大きな課題のように思われるが、回答者の母数が学部ごとに大きく異なっているため、この分析結果を大学全体のものとして捉えることはできず、学部ごとに分析を行うことが必要となる。それによって、学部教育プログラムを受けた学生の学習経験や学習に対する意識が、学部ごとの特徴として反映されることになる。

4. 学修成果と GPA の相関において考慮すべき観点

GPA は厳密な成績評価を推進する上で有効な指標として捉えられているが、実際の成績評価や成績分布は学部において特徴が見られる。田中・武方 (2020) で指摘したように、本学における GPA の分布は学部間において差異が見られる (図 1)。すなわち、工学部及び農学部は分散が大きい、地域資源創成学部はこれらに比べて小さい。

このことから、アンケートの回答結果と GPA の相関に、成績評価の厳密性が影響を及ぼすことが予想される。そこで、300 名の回答者の内、回答者の入学定員に対して 30% 以上の母数がある教育学部、工学部、農学部について、学部単位でアンケートの回答結果と GPA の相関を再分析してみた結果を表 4 ~ 6 に示す。



出典：田中・武方 (2020).

図 1 各学部における GPA の分布

表4 GPAとの相関：教育学部

対象	分類	設問	選択肢	相関係数
2年次	生活時間	1 学期中の授業・実験の課題、準備・復習に費やす時間（1週間の平均的時間数）を回答してください。		.411**
2年次	進路・就職	2 卒業後は宮崎県に残る予定ですか。	宮崎県に残る予定	.387**
2年次	生活時間	3 学期中の授業・実験に出席する時間（1週間の平均的時間数）を回答してください。		.383**
2年次	生活全般	4 学生生活を続けていく上で経済的な問題を抱えていますか。		.376**
2年次	生活時間	5 学期中の授業とは関係ない学習に費やす時間（1週間の平均的時間数）を回答してください。		.342*
初年次	進路・就職	6 卒業後は宮崎県に残る予定ですか。	宮崎県に残る予定である	.324*
最終年次	生活全般	7 大学での学習や生活の中で困ったことに直面したとき、周囲になるべく広く意見やアドバイスを仰ぎますか。		.321*
最終年次	選挙	8 あなたは公職選挙法に定める選挙の投票に行ったことがありますか。		.320*
初年次	入学時	9 高校の所在地はどこですか。	宮崎県	.313*
最終年次	留学	10 留学経験によりあなたの意識や行動に変化はありましたか。	異文化理解が深まった	.301*
2年次	生活全般	11 住居の条件や環境に問題を抱えていますか。		.294*
最終年次	留学	12 留学の目的は何でしたか。	語学以外の学習	.289*
初年次	入学時	13 宮崎大学のオープンキャンパスに参加しましたか。		.285*
2年次	基礎教育	14 基礎教育について、授業は将来役に立つと思いますか。		.285*
最終年次	留学	15 留学の目的は何でしたか。	語学	.282*
最終年次	進路・就職	16 就職希望先を決める場合、特に重視する項目は何ですか。	給与・報酬	.279*
最終年次	生活全般	17 あなたは、大学内にどのような友人がいますか。	学習やスポーツで競い合う友達	-.313*
初年次	教育目標	18 どのようなメディアによって入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）を知りましたか。	受験雑誌	-.318*
最終年次	選挙	19 投票に行かなかった理由は何ですか。	現在の移住地に住民票がなく、投票の場所が遠いため	-.374**

表5 GPAとの相関：工学部

対象	分類	設問	選択肢	相関係数
最終年次	学習経験・成果	1 3年生のときの成長の実感がありますか。		.326**
最終年次	学習経験・成果	2 2年生のときの成長の実感がありますか。		.307**
最終年次	学習経験・成果	3 在学期間中の授業をとおして、自発的に学習する態度が身についたと思いますか。		.272**
最終年次	学習経験・成果	4 1年生のときの学びの充実度は高いですか。		.246*
最終年次	学習経験・成果	5 3年生のときの学びの充実度は高いですか。		.242*
初年次	入学時	6 現在の学科・課程を選択した第1の理由を1つマークしてください。	学科・課程の入学難易度	.232*
2年次	生活全般	7 教員や学生との人間関係で問題を抱えている。		.231*
最終年次	学習経験・成果	8 1年生のときの成長の実感がありますか。		.231*
最終年次	進路・就職	9 就職希望先を決める場合、特に重視する項目は何ですか。	職場の安定性	.221*
2年次	生活全般	10 学生生活を続けていく上で経済的な問題を抱えていますか。		.220*
最終年次	学習支援	11 シラバスの活用状況について該当するものにチェックしてください。	履修計画を立てるのに活用した	.218*
最終年次	学習経験・成果	12 2年生のときの学びの充実度は高いですか。		.216*
最終年次	学習経験・成果	13 4年生以上のときの成長の実感がありますか。		.204*
初年次	教育目標	14 ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）という言葉を知っていますか。		-.203*
2年次	生活時間	15 学期中のサークル・クラブ活動時間（1週間の平均的時間数）を回答してください。		-.207*
最終年次	生活時間	16 学期中の、サークル・クラブ活動の時間（1週間の平均的時間数）を回答してください。		-.210*
2年次	教育目標	17 あなたは「宮崎大学の教育目標」（「人間性の教育」、「社会性・国際性の教育」、専門性の教育）を知っていますか。		-.212*
2年次	教育目標	18 「宮崎大学の教育目標」を何によって知りましたか。	大学のホームページ	-.214*
2年次	生活時間	19 学期中のアルバイト・仕事の時間（1週間の平均的時間数）を回答してください。		-.217*
2年次	生活時間	20 休暇中の、サークル・クラブ活動時間（1週間の平均的時間数）を回答してください。		-.231*
初年次	入学時	21 現在の学科・課程を選択した第1の理由を1つマークしてください。	文化系であるか、理科系であるか	-.250*

表 6 GPA との相関：農学部

対象	分類	設問	選択肢	相関係数
2年次	生活全般	1 出身地や故郷と思える地域に関心がありますか。		.260**
2年次	留学	2 現在、留学に対してどのような考えを持っていますか。	入学時は留学に興味はなかったが、留学したいと思うようになった	.251**
最終年次	留学	3 在学中の海外への留学／渡航経験はありますか。		.245**
最終年次	生活全般	4 普段、朝食は食べますか。		.238**
最終年次	生活全般	5 ボランティア活動の内容は何ですか。	子どもに関する活動	.229**
初年次	入学時	6 現在の学科・課程を選択した第1の理由を1つマークしてください。	学科・課程の入学難易度	.223**
最終年次	学習経験・成果	7 在学期間中の授業をとおして、課題解決能力が身についたと思いますか。		.221*
最終年次	生活全般	8 あなたは、大学内にどのような友人がいますか。	悩み事を相談できる友達	.219*
最終年次	学習経験・成果	9 在学期間中の授業をとおして、外国語によるコミュニケーション能力が身についたと思いますか。		.215*
2年次	留学	10 「留学したい／興味はなかったが、留学したいと思うようになった」と回答した理由は何ですか。	国際関連の講義を受講して興味を持った	.208*
2年次	留学	11 「留学したい／興味はなかったが、留学したいと思うようになった」と回答した方は、どのような留学を希望しますか。	学位取得を目的としない海外大学への中・長期留学(例：交換留学等)	.202*
最終年次	進路・就職	12 入学時に比べて宮崎県への興味・関心が高まりましたか。		.200*
2年次	生活時間	13 学期中の授業とは関係ない学習に費やす時間(1週間の平均的時間数)を回答してください。		-.205*
2年次	基礎教育	14 基礎教育について、授業をとおして論文や本を読みましたか。		-.210*
最終年次	生活全般	15 人との付き合い・交流において、あてはまるものはどれですか。	実際に合う友人よりも SNS の友人の方が本音を話しやすい	-.210*
2年次	生活時間	16 休暇中の、アルバイト・仕事の時間(1週間の平均的時間数)を回答してください。		-.215*
2年次	生活時間	17 学期中のアルバイト・仕事の時間(1週間の平均的時間数)を回答してください。		-.223**
2年次	教育目標	18 「宮崎大学の教育目標」を何によって知りましたか。	オリエンテーション	-.226**
2年次	学習支援	19 高校教育を補うなど基礎学力のための補習教育をもっと充実させた方がよい。		-.241**
2年次	生活時間	20 読書習慣について当てはまるものを1つ答えてください。		-.245**
2年次	基礎教育	21 基礎教育について、授業はわかりやすかったですか。		-.246**
2年次	留学	22 現在、留学に対してどのような考えを持っていますか。	大学入学以前から留学に興味はない	-.277**
初年次	生活時間	23 読書習慣について当てはまるものを1つ答えてください。		-.315**

学部ごとに有意差が認められる項目の顔ぶれは全く異なり、全学部をまとめて分析したものと異なる結果になっている。教育学部では、表4の設問番号1の学期中の授業・実験の課題、準備・復習に費やす時間に正の相関が見られた。3、5の学習時間についても弱い正の相関があり、学習にかける時間との関わりに明確な特徴がみえた。質問番号2、6、16の卒業後の進路先、4の経済的問題についても弱い正の相関が見られる。質問番号14の基礎教育の学習効果について相関が見られるのも特徴である。教育学部では、授業への参加やそれに伴う学習のプロセスが成績と関わりが大きい。

工学部では、表5の設問番号1、2、8における成長の実感が成績と弱い正の相関を持ち、3の自発的な学習態度、4、5、12の学びの充実度も関わりが強い。

9の卒業後の進路に対する意識も成績との相関が見られる。ただし、留学経験については全学で認められた相関が見られない。工学部では学習の結果として身につけた実感や充実度が成績と関わりが大きい。

農学部では、表6の1、地域に対する関心について、弱い正の相関ではあるが最も大きい値となっている。フィールド実習において、現場から学ぶ態度が身につけているのであろう。全学的な分析結果に見られた留学経験は、2、3、10、11に相関が見られ、他の学部よりも留学に対する意識や経験が成績に大きく影響している。4の朝食の摂取と成績の相関についても、農学部が強い関わりを持つ。

全学的に見て、表3の設問番号53、54、表6の23にあるように、読書の習慣の高さと成績との関わりについては、むしろ弱い負の相関が見られる。これは正

課の学習とは関わりのない自己の趣味や関心による読書に関する質問として回答していることが予想されるが、読書習慣と成績の相関については、質問方法を改善したり、回答した学生の成績分布を詳細に分析する必要がある。

5. まとめ

今回、2016年度入学した学部学生を対象に、2016年4月、2017年10月、2019年12月に3度のアンケート（学生調査）に回答した学生のうち3度のアンケートすべてに回答した学生を追跡し、GPAとの相関について分析した。「留学／渡航経験」、「朝食の摂取」、「自発的に学習する態度」、「成長の実感」の4つがGPAと弱い正の相関が見られた。正の相関に影響する要因として、学習者の自発的態度が全学に共通して見られる。

アンケート結果とGPAとの相関の分析に際して、成績評価や成績分布は学部において差異が見られことから、学部単位の分析を行った結果、学部ごとに違った特徴が見られた。これにより、学生の意識・関心の傾向が学部ごとに異なることを見いだすことができた。GPAによる分析を行うにあたっては、成績評価

の厳格化をより推進することが必要であり、また、学部・学科においても回答率のばらつきが大きいことから、アンケート結果を周知することにより、学部に対するアンケート調査への理解を求め、回答への協力を仰ぐことが課題である。

参考文献

田中秀典・武方壮一、2020、「学生アンケートの結果からみる宮崎大学の学部生の傾向 — 2年次生の学生生活とGPAの相関」『宮崎大学教育・学生支援センター紀要』4,1-9.

国立教育政策研究所、2020、『平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 調査結果資料 全国版小学校』（<https://www.nier.go.jp/19chousakekkahoukoku/factsheet/19primary/>

（2020年12月20日）

国立教育政策研究所、2020、『平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 調査結果資料 全国版中学校』（<https://www.nier.go.jp/19chousakekkahoukoku/factsheet/19middle/>

（2020年12月20日）